

事業報告書

令和6年3月31日
一般社団法人スポーツアズライフ八戸
代表理事 金濱 亨

第4期事業年度（令和5年度：2023年～2024年）における事業報告として、法人経営及び法人事業の目標に対する評価指標を下記にまとめる。

★評価指標 A：十分達成したと言える状況 B：達成まで課題がある状況 C：まだまだ努力が必要な状況

1 経営目標と評価指標(マネジメント・ガバナンス分野)

(1) 公明正大な法人運営と法人や法人の理念における認知度向上を図ること。

●評価報告(B)：多様なオウンドメディアでのきめ細かな情報公開及び会員への丁寧な情報発信を達成した。情報公開イベント等を通じた政策提言を年2回以上の実施は出来なかった。

(2) 財務において年度黒字化を達成すること。

●評価報告(A)：4年目にして、初の年度黒字を達成する。賛助会費の比率が高かったが、自主財源、事業収入を増やしたい。

(3) 関係諸機関や団体と積極的な協働連携を図ること。

●評価報告(B)：様々な関係諸機関との連携協働ができた。委託事業は1件も受託することはできなかった。

(4) その他法人事業に該当する事業活動について、適宜理事会での審議議決を以って迅速な試行錯誤と挑戦を具体的行動としてアクションすること。

●評価報告(A)：状況に応じてオンラインを駆使して迅速な対応、情報発信、審議議決を持ちながら実施可能な法人事業・プロジェクトにきめ細やかに取り組むことができた。

2 法人事業の目標と評価指標(事業・各プロジェクト分野)

当法人が定款第3条2項に掲げる法人事業を具体化した以下6つの具体的事業・プロジェクトに重点的に取り組む。

(1) 地域スポーツ推進事業

① 氷都八戸を標榜する活動拠点である八戸市の冬季スポーツ推進に係る活動を展開すること。

ア スケートレクリエーションに関する広告及び活動を実施すること。

●評価報告(C)：スケートレクリエーションに関する広告及び活動は1件も実施できなかった。

イ デポルターレ八戸の週末サークルとして「市民スケーターサークル」を定期開催すること。

●評価報告(B)：デポルターレ八戸の週末サークルとして1回しか市民スケーターサークルを開催できなかった。

②地域部活動受皿プロジェクト「総合型地域スポーツクラブ デポルターレ青森プラットフォーム (DAP)」を設立し運営すること。

●評価報告(A)：広告0件、所属地域部活動1団体も達成できなかった。

(2)生涯スポーツ推進事業

総合型クラブデポルターレ八戸のサークル活動をとおして、生涯スポーツ・レクリエーションスポーツ・生涯学習を主目的にした週末サークルのコミュニティを市民に提供すること。

●評価報告(B)：常時月に4種目以上の多種目サークルの定期開催、チーム活動以外のスタッフ会員0名及び多世代の利用会員3名の新規入会を達成した。

(3)アスリート育成事業

総合型クラブデポルターレ八戸のチーム活動部門をとおして、2026 あおもり国スポでの活躍選手育成等の長期的視点で持続可能な成長を見据えた競技者育成を行うこと。

① スピードスケート競技者育成チームデポルターレ八戸 SC(D8SC)を運営する。

●評価報告(A)：選手の自己ベスト全員更新を達成した。

②ウエイトリフティング競技者育成チームデポルターレ八戸 WC(D8WC)を運営する。

●評価報告(B)：選手の自己ベスト全員更新はならなかったが試合出場を達成した。

(4)アスリート実践事業

正会員メンバー自身が各種競技会へ積極的にエントリーし、法人理念を体現する姿を広く見せること。

●評価報告(B)：正会員全員が1回以上の競技会エントリーしアスリート活動を行う。

(5)スポーツツーリズム事業

特に氷都八戸におけるスケートツーリズムの概念を宣伝し、関係機関へ周知すると共に、実際の観光客に対するスケート観光事業を提供すること。

●評価報告(C)：スケートツーリズムについての広告及び活動について0件の実働であった。

(6)イベントプロデュース事業

関係スポーツ団体や行政機関等と連携し、当法人目標達成及び法人事業に該当するスポーツ・文化活動の普及振興・コミュニティづくり・まちづくりに関わるイベント事業のマネジメント及び実践を行うこと。

●評価報告(A)：共催イベントを1件以上企画運営する。

(7)横断型事業「クラブ運営プロジェクト(総合型地域スポーツ・文化クラブデポルターレ八戸)」

①週末サークル活動(生涯スポーツ・レクリエーションスポーツを目的としたスポーツサークル、生涯学習を目的とした文化サークル)について、年間を通し継続運営すること。

●評価報告(A)：スポーツサークル活動74本/1年(1週間に1本以上の計算)、文化サークル活動0本/1年(1ヶ月に1回計算)を実施となった。

②競技者育成チーム(スピードスケート競技者育成チーム D8SC、ウエイトリフティング競技者育成チーム

D8WC)について、年間を通し継続運営すること。

●評価報告(B)：所属選手の1大会の参加で、自己ベストは更新できなかった。

③不定期イベント・ワークショップの開催に積極的に挑戦すること。

●評価報告(B)：年間1件の開催であった。

これ以上の年度途中における詳細の事業・プロジェクト実施にあたっては、理事会での審議と決議を以って業務の執行にあたった